

# 2025年度（令和7年度） 埼玉支部保険者機能強化予算の 策定について

# 1

## 特定保健指導実施率の向上

### 課題・ 現状

- 被保険者の特定保健指導実施率が低い【令和5年度実績】
- 全国順位：47位（実施率7.2%）
- 被保険者500人以上事業所実施率（8.66%）が全国平均（19.72%）と乖離がある
- 宣言事業所の実施率（18.3%）が全国平均（29.43%）と乖離がある

### 考察

- 受入体制が整っていると思われる、大規模事業所、宣言事業所においても実施率が低い。
- 健診機関において健診当日に実施する初回面談の実施率が低い。

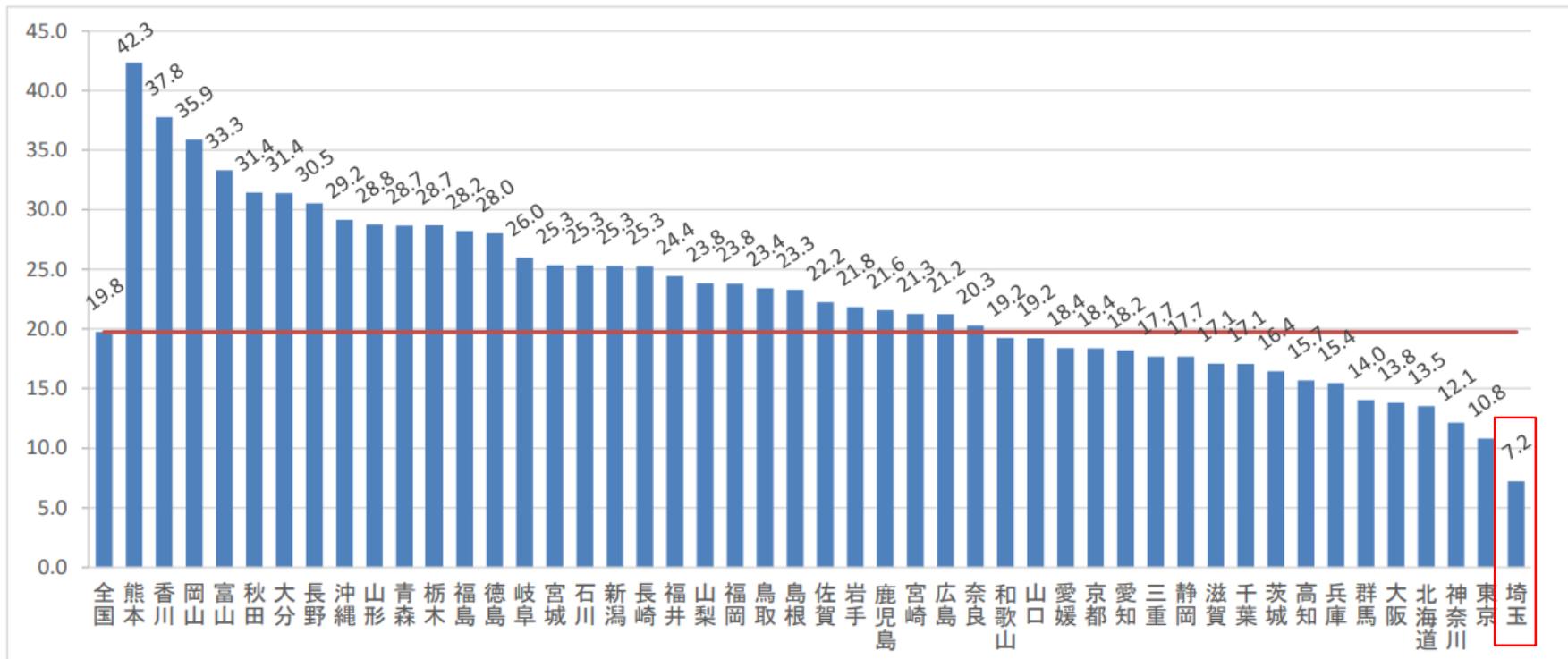
### 論点

- 特定保健指導について、理解、受け入れしてもらうための周知方法。

# 1

## 特定保健指導実施率の向上

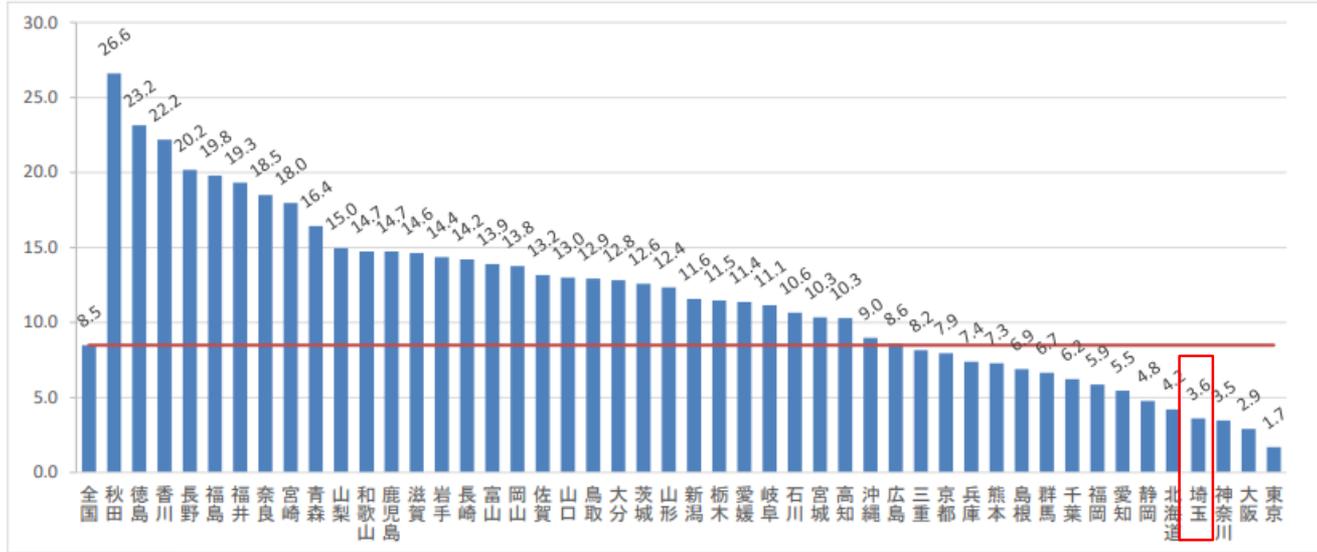
令和5年度 特定保健指導実施率（被保険者）



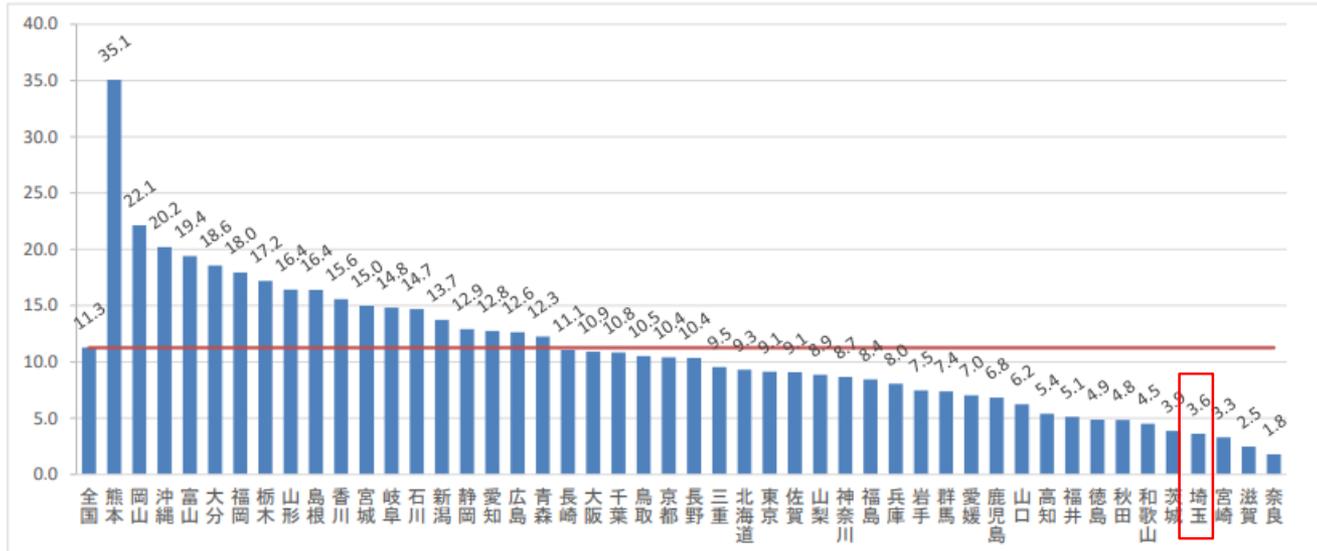
# 1

## 特定保健指導実施率の向上

令和5年度 特定保健指導実施率（被保険者\_直営）



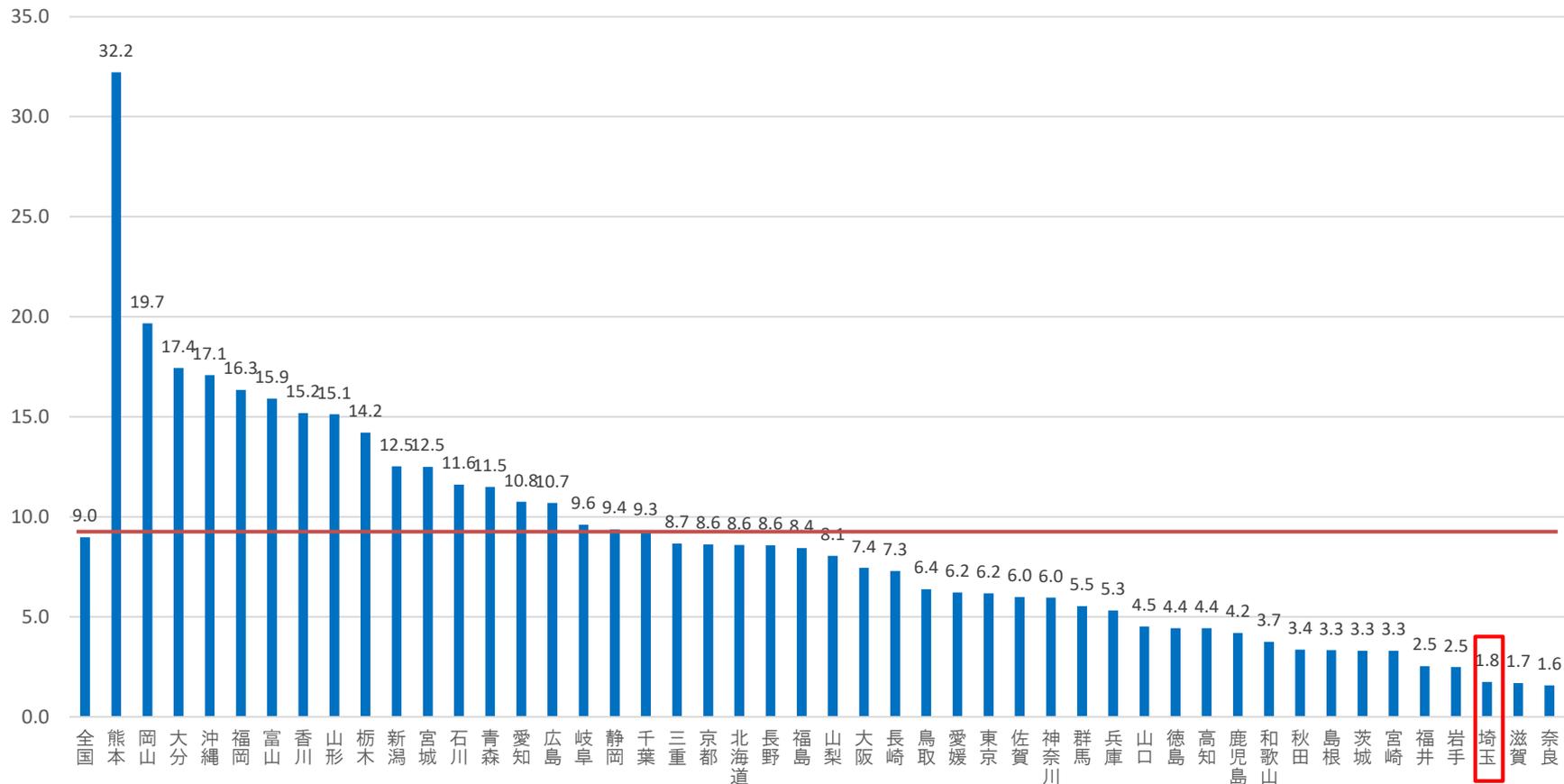
令和5年度 特定保健指導実施率（被保険者\_委託）



# 1

## 特定保健指導実施率の向上

令和5年度 特定保健指導実施率(被保険者\_委託\_健診機関)



# 2

## 上手な医療のかかり方の啓発

### 課題・ 現状

- 人口10万人に対する医師数47位、小児科専門医数43位。
- 若い世代またその親世代に対して、埼玉県内の医療体制への理解を促す。
- 2024年4月1日から医師に対する時間外労働の上限規制（医師の働き方改革）

### 考察

- 埼玉県の医療体制の現状を周知し、特に若い世代に対して上手な医療のかかり方を啓発していく必要性がある。

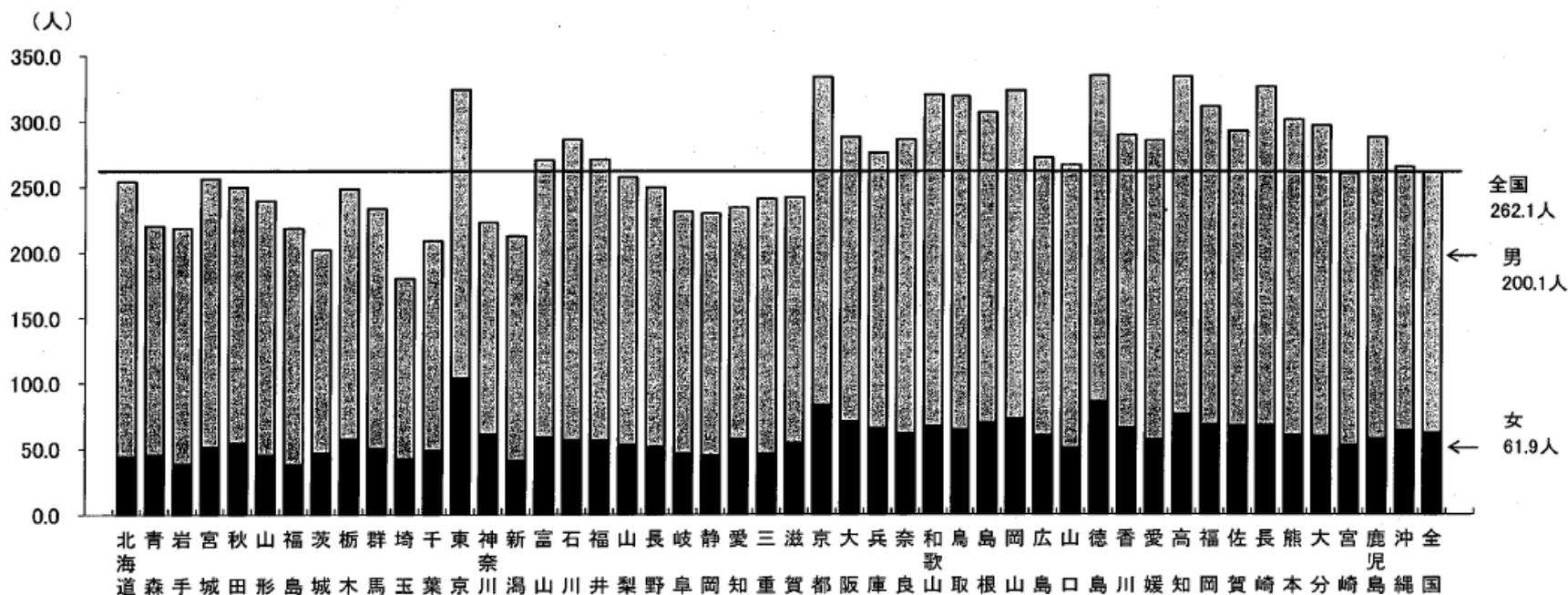
### 論点

- 若い世代に対し、埼玉県の医療体制の現状を理解してもらい、限りある医療資源を有効に利用してもらうため、どのような手法・内容で広報を行うか。

# 2

## 上手な医療のかかり方の啓発

都道府県(従業地)別にみた医療施設に従事する人口10万対医師数

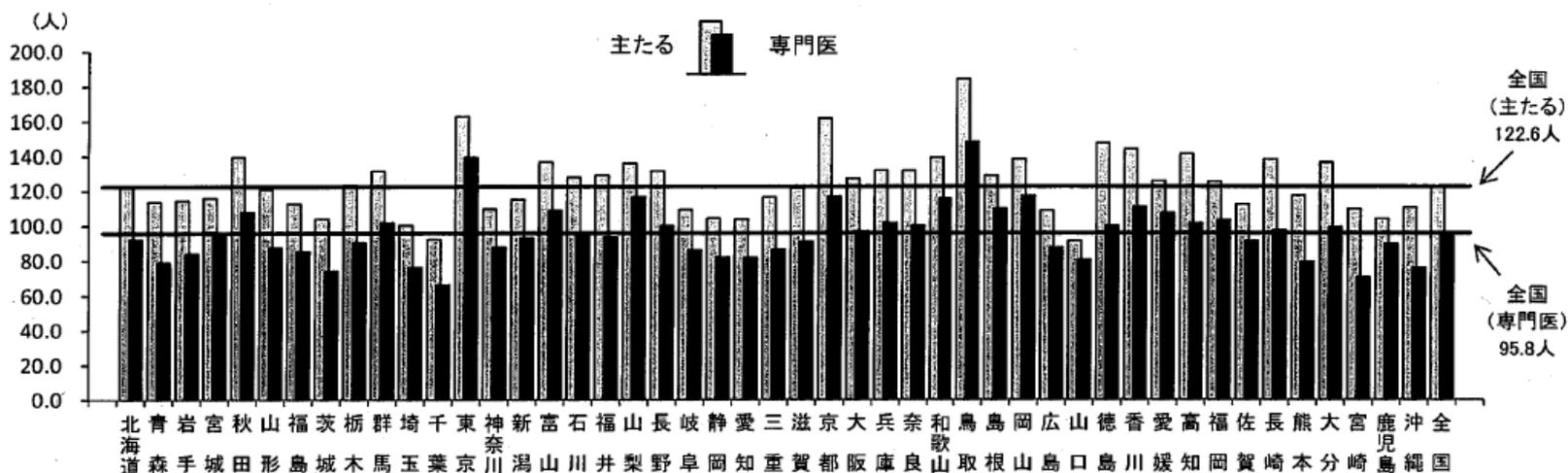


※ 厚生労働省 令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況 図5

# 2

## 上手な医療のかかり方の啓発

都道府県(従業地)、主たる診療科(小児科)・専門性資格(小児科専門医)別にみた医療施設に従事する人口10万対医師数



注：人口10万対比率は、「15歳未満人口」により算出した。

※ 厚生労働省 令和4(2022)年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況 図6